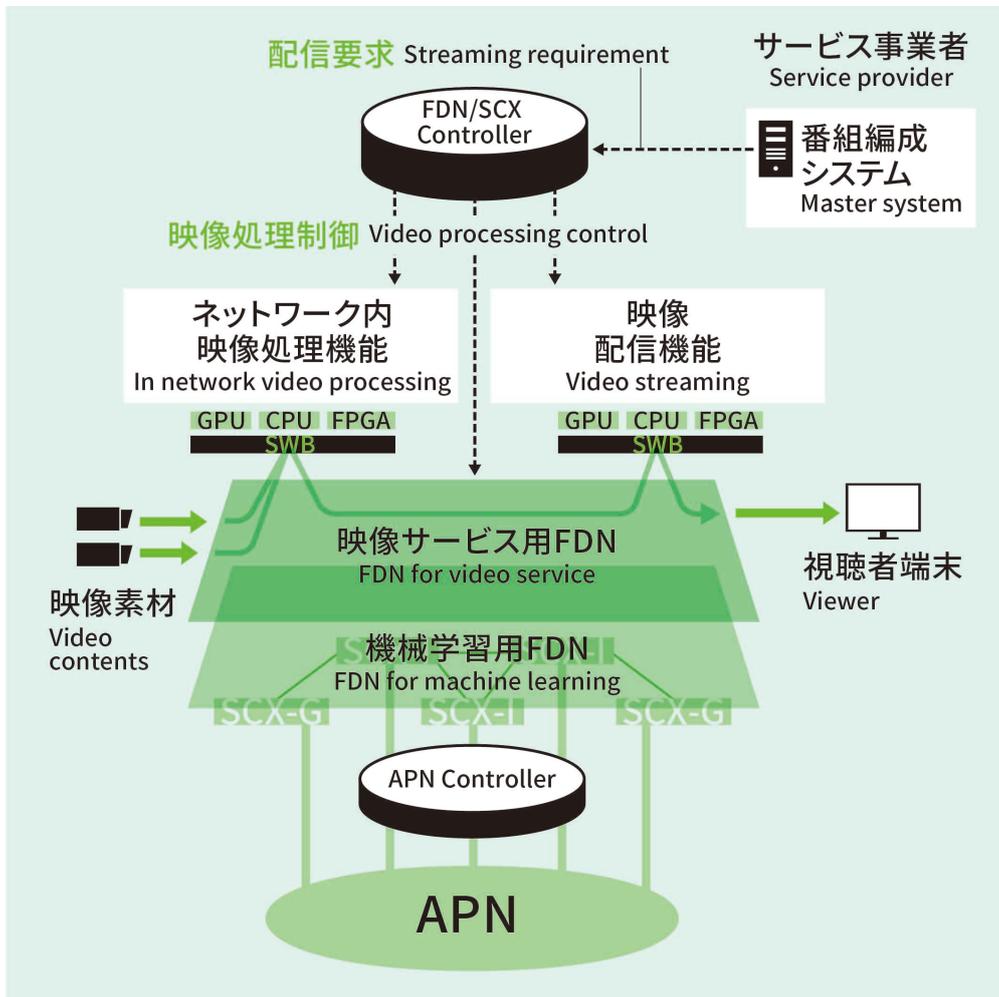


NW内映像処理技術と、分散型DCを実現するSCX技術

リアルタイム映像処理と
効率的な伝送リソースの利用を実現します

#業務効率化 #レジリエンス



///技術課題

これまでの光伝送ネットワークはニーズに応じた柔軟なリソース提供や遅延を感じないようなリアルタイム性の高いライブ配信が困難でした。

///研究目標

ビジネスニーズに応じたネットワークリソース、映像処理機能を提供し、より幅広い事業者にサービスを展開できます。

---要素技術

複数のAPNパス上に跨って高品質な通信パスを構築するSCX技術と、ネットワーク内リソースによる映像フレーム精度の同期やリアルタイム映像処理技術

---市中技術差異点

End-to-Endで確定通信を柔軟に実現するSCX技術とネットワーク内の映像処理を連携したリアルタイム性の高い映像サービスにより、APNのリソースを効率的に利用しつつ高臨場でインタラクティブな映像体験が可能

---適用ビジネス

情報通信業分野において、ネットワークサービスに適用（2030年頃）
放送分野において映像制作やリモートプロダクションのユースケースに適用（2028年頃）